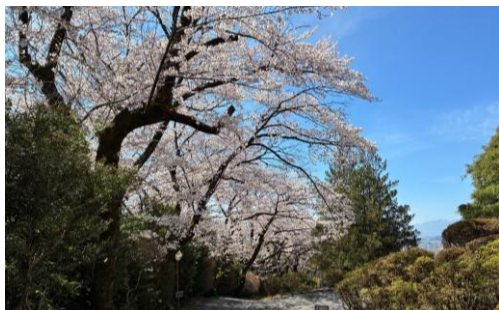


前期始業式、令和8年度入学式に寄せて



弓道場へと下る坂の桜 (4月3日)



新任式 (4月3日)



入学式 代表 深見さん 宣誓 (4月3日)



対面式 代表 山下さん あいさつ (4月3日)



正門でのあいさつ・交通安全運動 (4月6日)

前期始業式校長講話(要旨)

<なぜ継続的な努力が大切なのか>

先月の終業式で「今この時を大切に、プロセスを楽しむ」という話をしました。新年度を迎えるに当たって、毎日毎日を丁寧に過ごし、大きな目標や夢を持ちつつ、日々の学習や生活の過程を楽しんで欲しいと思います。

先月、ある野球選手のインタビューで、日々の努力と上達の関係が話題になっていました。その選手は「練習しても徐々に上達するのではなく、長くできない期間を経て、ある時突然できるようになる(この選手は球速 140km 台だったものが、突然 150km 台で投げられるようになったそうです)。しかし、だからといって日々の練習が無意味ということではなく、長く、継続的に練習を続けければ続けるほど、きっかけやコツをつかむ確率が高くなる。だから日々努力しつづけるのだ。」とっていました。スポーツに限らず、勉強や文化・芸能の分野も同じだと思います。

努力しても、成果が現れない期間は本当に苦しいと思います。でもそこに少しでも喜びや楽しみを見つければどうでしょう。未来の大きな目標に押しつぶされそうになったら、いったんそれを忘れて、いまこの瞬間の努力や気づきやちょっとした工夫を楽しむことができれば、努力も続けられるのではないかと思います。

<人間関係の基本は相互の思いやり>

人間関係の基本は「思いやり」ですが、新学期を迎えるにあたって、素直に気持ちを言い合えて、受けとめ合える関係を大切にしたいと思います。

学校は、様々な人が集まる一つの社会です。仲間と楽しく過ごしたり、ともに活動して、喜びや悲しみを分かち合える一方で、意見が衝突したり、孤独を感じたり、わかってもらえず苦しんだりすることもあります。

皆さんには、ぜひ思いやりの心を持って、人に対して配慮や気遣いをしてほしいと思います。しかし、一方で、完璧な人はいませんから、悪意はなくても人を傷つけてしまうことがあります。皆さんも、何気なく言われた言葉に憤慨したり傷ついたりすることがあると思います。何も言わずに我慢してしまうことも多いと思います。そのような時、苦しい気持ちを素直に相手に伝え、相手もその気持ちを真摯に受けとめてくれる関係があったらどうでしょう。我慢せずに、自分の気持ちを素直に伝えることは「自分を大切にすること」に繋がります。また、意図しなくても相手を傷つけてしまったら、その気持ちを受けとめて謝ることは「相手を尊重する」ことです。

これは簡単なことではありませんが、苦しい時、困った時、安心して気持ちを伝えられ、それを受けとめてくれる友人や仲間、先生がいる、そんな学校にしたいものです。



中部日本コンテスト(3月29日)「金賞」の野村さん



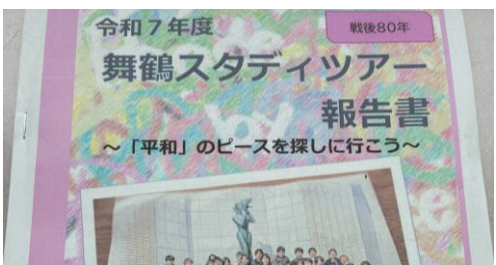
いいだ高校生 ESD 塾@都留文科大学 (3月27日)
久保田さん、北原さん参加



竹林整備@大根坂 有志4名 (3月25日)



海外語学研修@オーストラリア (3月中下旬)



飯田市民館主催ピースセミナー修了式 (3月14日)
中本さん受講



図書館だより UNICRON 4月号 (4月7日)

令和8年度入学式式辞(要旨)

<はじめに>

あたたかな春の風とともに、風越高校の立つ高台にも、桜が一斉に開花する季節がやってきました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これまで支えてくださった人への感謝の気持ちを忘れずに、これからの飯田風越高校での学びを充実したものにしてください。

<飯田風越高校の歴史>

飯田風越高校は、明治34年(1901年)に、下伊那郡立高等女学校として創立されました。大正十年には、飯田町立の実科高等女学校がつくられ、戦後に両校が統合して「長野県飯田風越高等学校」となりました。その後、男女共学、国際教養科の設置、家政科の閉科を経て、125年続いてきた歴史のある学校です。

創立以来「質実勤勉・自由闊達」を校風の基調とし、生徒たちは勉強や生徒会活動、クラブ活動に真摯に打ち込み、3万6千人を超える同窓生は、飯田下伊那を中心に地域の経済や教育、医療・福祉、文化を支えるとともに、広く国内外で活躍しています。

<伝えたい3つのこと>

一つは、自分の人生で、人との比較でなく「自分はこれを大切に生きていく」と言えるものを見つけて欲しいということです。人との比較でなく、自分の好きや興味関心、良さを見つけて、それを大切に育てていってほしいと思います。それがこれから困難に直面した時にそれを乗り越える力となるからです。

二つ目は、想像力と共感する気持ちを大切にしてほしいということです。私たちは、ひとの気持ちを自分のことのように感じることができます。身近な人から遠く離れた人にまで、思いやりの心を持って考え、行動できる人になってほしいと思います。

三つ目は、異質なものの開かれた心と、偶然の出会いを大切にしてほしいということです。自分の心地よい世界だけに閉じこもるのではなく、自分と異なる考え方や価値観に触れ、新たな世界や自分を発見する。私たちは、自分と異質なものに心を閉ざすのではなく、常に心を開いていたいものです。

<先生や先輩、仲間、地域の応援がある>

風越高校には、皆さんの高校生活を支えてくれる人や機会がたくさんあります。授業の内外で熱心に教指導いてくださる先生。クラブ活動や生徒会活動などでともに汗を流してくれる先輩。異文化体験や国際交流活動、探究活動やボランティア活動などで応援して下さる地域の方々。ぜひ風越高校と飯田下伊那を学びのフィールドとして、自らの可能性を広げていってください。

<最後に>

まだ目標がない、自分に何が合っているのかわからない、という人は、まずは一日一日を大切に、丁寧に生活を送ってください。気持ちの良い挨拶をする、時間や約束を守る、分からないことをそのままにしない、など。些細なことにも楽しみや喜びを見出して、日々を丁寧に生活していく。その中で、きっと、素敵な出会いや発見、目標や夢につながるきっかけが生まれてくると思います。

飯田風越高校が、挑戦したいと思った時に安心して一歩を踏み出すことが出来、みなさん一人ひとりが成長を実感し、大きく社会や世界に羽ばたける、そんな学校となることを切に願い、式辞とします。